



# 2021年度 決算説明資料

2022年4月7日

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

取締役 常務執行役員

財務経理本部長 丸山 好道

— TODAY'S

# AGENDA

1

**2021年度業績**

2

**2022年度業績予想**

— TODAY'S

# AGENDA

1 2021年度業績

2 2022年度業績予想

# 2022年2月期 連結業績ハイライト

単位：億円、%

	3Q累計		4Q		通期		
		前期比/差		前期比/差		前期比/差	計画比/差
グループ売上*	102,782	124.3 +20,120	39,650	142.7 +11,863	142,432	129.0 +31,983	100.1 +172
営業収益	61,494	143.8 +18,726	26,002	174.5 +11,103	87,497	151.7 +29,830	100.3 +277
営業利益	3,029	106.1 +172	847	105.0 +40	3,876	105.8 +213	96.9 ▲123
(特別損失)	396	53.1 ▲350	290	84.7 ▲52	687	63.0 ▲402	- -
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,748	133.5 +438	358	74.4 ▲123	2,107	117.6 +315	98.0 ▲42
<b>EBITDA</b> (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	5,585	116.4 +786	1,929	131.2 +459	7,514	119.9 +1,246	98.9 ▲81

\* グループ売上：セブン-イレブン・ジャパン、セブン-イレブン・沖縄及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

注) 通期為替換算レート：U.S.\$1=109.90円 1元=17.04円

# 2022年2月期 セグメント別財務KPI

単位: 億円、%

	EBITDA	ROIC	成長率*	概要
国内CVS事業	3,041	18.2	+1.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>圧倒的な収益性を誇る一方で成長率は鈍化傾向</li> <li>食品事業シナジーの最大化を通じた競争力の強化と並行し以下の諸施策を推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢化等、国内消費環境の変化に対応した商品構成・売場レイアウトの見直し、DX推進や新規サービス開発の強化等</li> </ul> </li> </ul>
海外CVS事業	3,544	4.6 5.9 (のれん償却前)	+130.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Speedway買収シナジーの最大化とSEI全体の事業構造・収益性変革を推進</li> <li>買収に伴う有利子負債は計画を上回る進捗で削減</li> <li>7-Eleven Internationalを核としたグローバル展開の加速により更なる成長を追求</li> </ul>
スーパーストア事業	504	▲0.9	▲0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率性・成長性の両面で課題を有する一方、食品事業シナジー最大化を通じたCVS事業の競争力強化の観点からはグループにおける中核的位置付けとなる</li> <li>構造改革を早期に完遂しセグメント単位での収益力改善にも注力</li> </ul>
百貨店・専門店事業	67	▲3.8	+4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>個社毎に差異あるも全体としては厳しい経営環境であり選択と集中を加速</li> <li>既にFrancfrancの一部株式譲渡、OSHMANN'Sの売却を実施</li> <li>そごう・西武はストラテジック・レビューの実施を決定 (ファイナンシャル・アドバイザー起用)</li> <li>その他事業についてもポートフォリオの見直し、必要なベストパートナーの検討を継続</li> </ul>

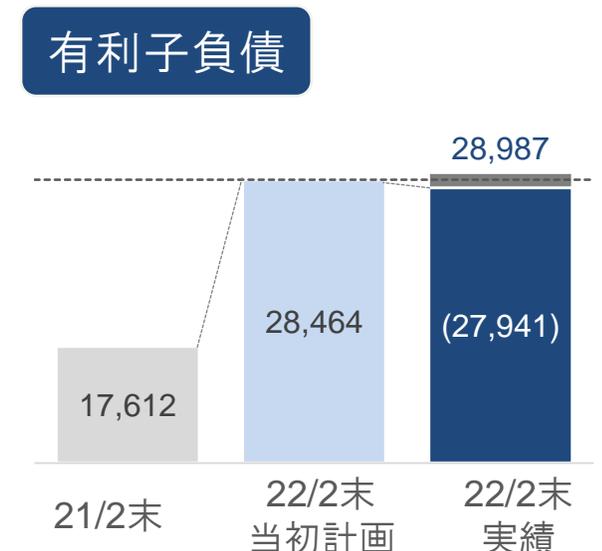
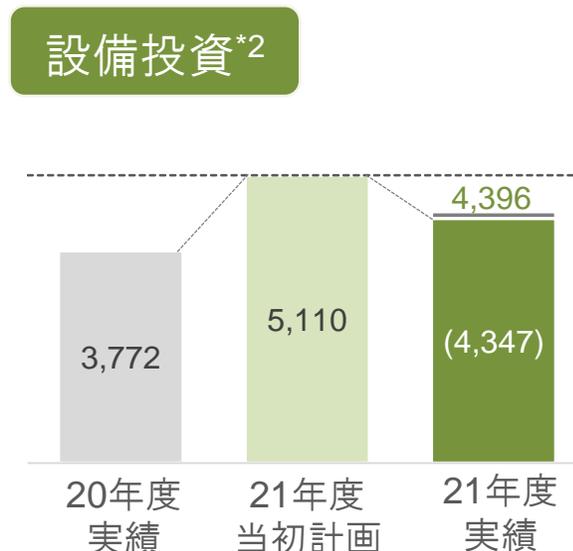
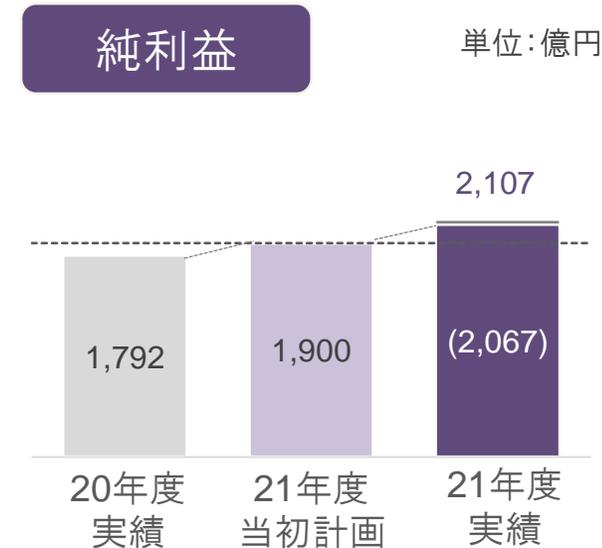
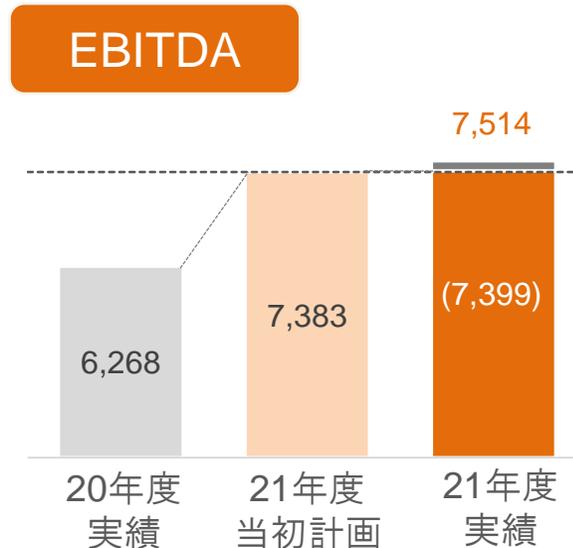
\* 成長率は営業収益の伸び率

# 2022年2月期 連結財務KPI実績

主な連結KPI	2021年度		評価*1
	当初計画	実績	
EBITDA	7,383億円	7,514億円	○
営業CF(除く金融)	6,347億円	6,308億円	△
フリーCF水準(除く金融)	1,737億円	2,795億円	○
ROE	6.9%	7.5%	◎
ROIC(除く金融)	4.4%	4.8%	◎
Debt/EBITDA倍率	3.9倍	3.9倍	○
EPS	215円	238円	◎

\*1 2021年度実績: ◎計画を上回る ○計画通り ×未達

\*2 Speedway取得における投資は除く



注) ■ は為替影響

— TODAY'S

# AGENDA

1 2021年度業績

2 2022年度業績予想

# 外部環境認識

2021年7月時点(中計資料再掲)

## 世界的な潮流

- ✓ 環境課題の深刻化
- ✓ 価値観の多様化
- ✓ サステナビリティへの意識の高まり
- ✓ カントリーリスクの増加・顕在化
- ✓ テクノロジーの進展(データ社会)

## 国内の消費・競争環境

- ✓ 人口減少・少子高齢化
- ✓ 働き方の多様化
- ✓ 都市部の人口集中、地方の過疎化
- ✓ 業種業態の垣根を超えた競争
- ✓ 家事・食の外部化

## コロナに伴い加速する変化

- ✓ 健康、安心・安全への想い
- ✓ レジリエンスの必要性
- ✓ デジタル消費、デリバリーの浸透
- ✓ 小商圏化とその多様化
- ✓ 非接触・リモート社会

2022年4月時点

## 世界的な潮流

- ✓ 世界的なインフレ
- ✓ 脱炭素化素材価格の上昇
- ✓ 人手不足の顕在化
- ✓ 貯蓄から消費へのシフト
- ✓ 人件費上昇

## 国内の消費・競争環境

- ✓ 雇用環境の二極化
- ✓ 原材料価格、人件費の高騰
- ✓ 将来不安による消費抑制

## コロナに伴い加速する変化

- ✓ ニューノーマルの定着
- ✓ 行動単位の縮小
- ✓ プレミアム消費



人件費・原材料価格・電気料など、世界的インフレ ⇒ より不透明な経営環境に

# 2023年2月期 連結業績予想

	金額	前期比	前期差
グ ル ー プ 売 上	154,680	108.6	+12,247
営 業 収 益	96,530	110.3	+9,032
総 額 営 業 収 益(参考値)	103,740	118.6	+16,242
営 業 利 益	4,300	110.9	+423
経 常 利 益	4,020	112.1	+434
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	2,400	113.9	+292
EPS (円)	271.76	113.9	+33.08
のれん償却前EPS (円)	381.72	119.5	+62.32
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	8,823	117.4	+1,308

\* グループ売上: セブン-イレブン・ジャパン、セブン-イレブン・沖縄及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

注) 1. 為替換算レート: U.S.\$1=114.00円 1元=16.00円

2. 2023年2月期予想は「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号2020年3月31日)」適用後の数値であります。

なお、従前の計上方法による営業収益の2023年2月期予想は「総額営業収益(参考値)」として記載しております。

# 2023年2月期 セグメント別予想 (新収益認識基準)

単位: 億円、%

	営業収益			営業利益		
		前期比	前期差		前期比	前期差
連 結	96,530	110.3	+9,032	4,300	110.9	+423
国内コンビニエンスストア	8,550	97.9	▲182	2,303	103.1	+69
海外コンビニエンスストア	66,500	128.0	+14,556	2,140	133.9	+541
スーパーストア	14,950	82.6	▲3,157	217	115.5	+29
百貨店・専門店	4,870	68.4	▲2,252	55	-	+136
金融関連	2,000	102.9	+56	350	93.2	▲25
その他	240	118.0	+36	8.0	-	+9.1
消去及び全社	▲580	-	▲24	▲773	-	▲336

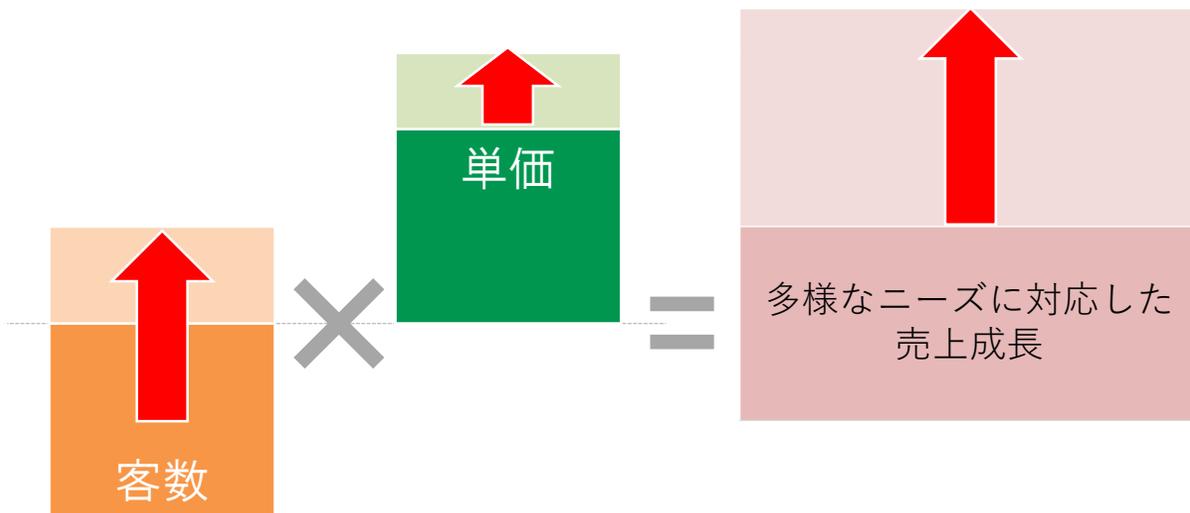
注) 為替換算レート: U.S.\$1=114.00円 1元=16.00円

# 2023年2月期 主要事業会社業績予想

単位：億円、%  
[百万ドル、%]

		営業利益		既存店 売上伸び率	商品荒利率 前期差
		前期比	前期差		
セブン - イレブン・ジャパン	2,300	103.1	+69	+2.5	+0.2
7 - Eleven, Inc. [ドルベース]	3,057 [2,682]	135.9 [131.1]	+808 [+635]	+6.0	+0.2
イトーヨーカ堂	40	246.8	+23	+2.8 (SC計)	+0.5
ヨークベニマル	190	129.2	+42	+0.1	+4.6
そごう・西武	30	-	+65	+16.3	+0.8

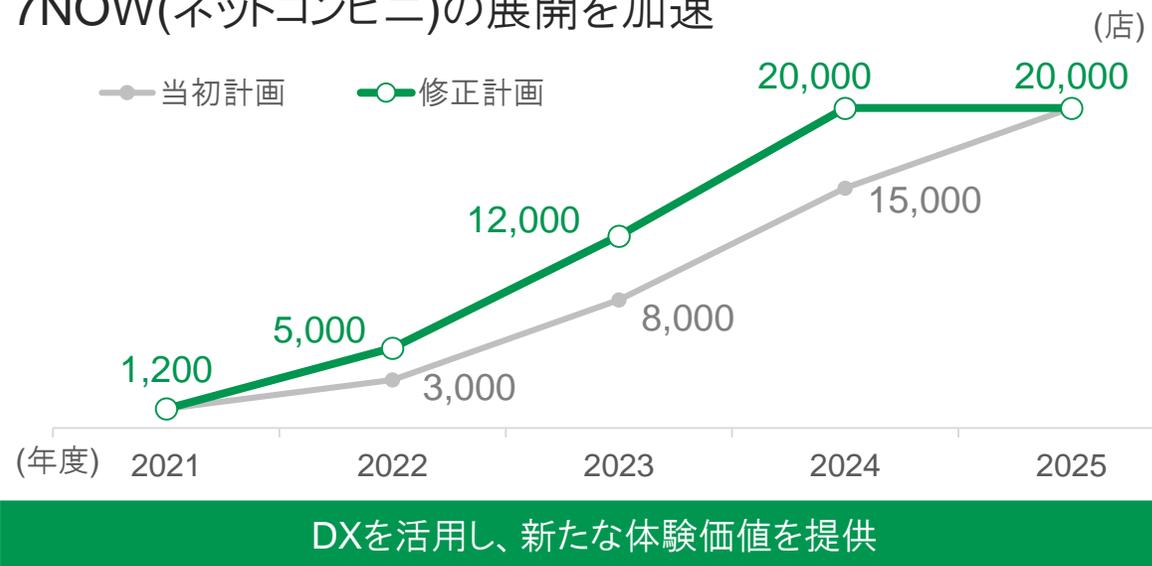
## SEJ再成長に向けた考え方



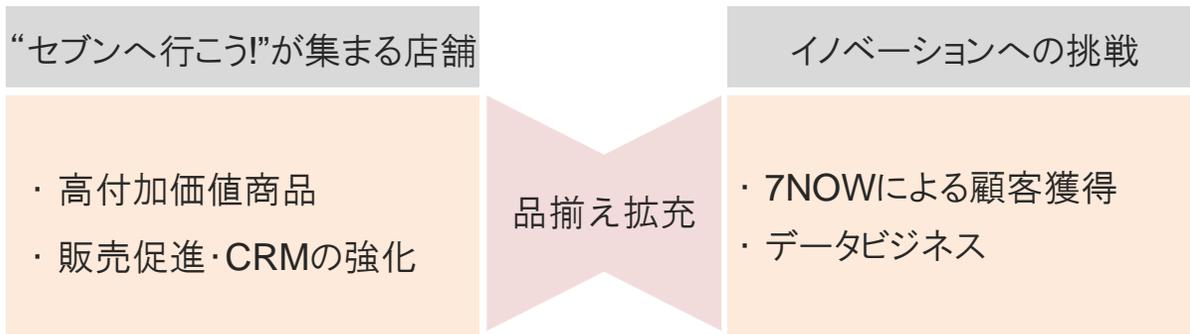
### 店舗における取組み

商品・品揃え	売場	販促
<ul style="list-style-type: none"> <li>高付加価値商品 (荒利確保)</li> <li>新商品、品揃え拡充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新レイアウト2020 アイテム数拡大</li> <li>立地別商品対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フェア、イベント対応</li> <li>アプリ、CRM強化</li> </ul>

### 7NOW(ネットコンビニ)の展開を加速



### 店舗と7NOWの成長を支える商品・品揃え



客単価の維持・向上と、新たな顧客獲得による客数増加で、新たな成長ステージへ

## SEIの更なる成長に向けた取組み

### 差別化商品の品揃え

(2021年度カテゴリー既存店売上伸び率)

フレッシュフード

+14.5%



オリジナル飲料

+8.7%



PB

+14.9%



### チームMDの取組み(2022年度)

「スライダー」をフロリダ(全店)、シアトル、シカゴに展開予定

フレッシュフード工場併設型共配センター  
(バージニア州 スタッフード)

2023年度上期 稼働予定

### デジタル技術の活用



7REWARDS + Speedy Rewards

会員数

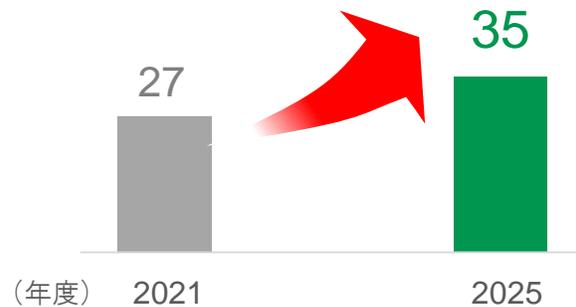
約70 百万人以上

直近90日  
アクティブ会員数

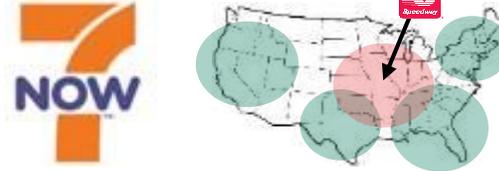
約27 百万人以上

(2021年度)

### 直近90日アクティブ会員数 (百万人)



### デリバリーサービス



Speedwayが加わり、全米人口の50%以上が店舗の2マイル圏内に居住

店舗数

約4,000 店舗

売上伸び率

+147.3 %

(2021年度)

### 売上構成比 (%)



### レストラン事業



平均日販  
(未導入店舗比)

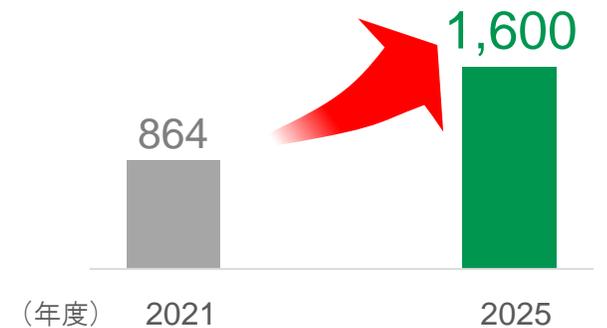
+23.9 %

荒利率  
(未導入店舗差)

+2.0 %

(Laredo Taco、Raise the Roostの2021年度実績)

### 店舗数\*



# 海外CVS事業 (Speedwayとのシナジー)

3年目の想定シナジー発現に向けて順調に進捗

2021年度	2022年度
\$158.3M	\$450M

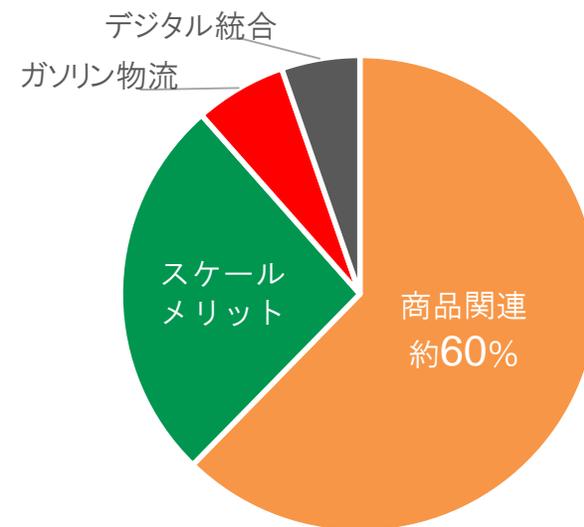


3年目想定シナジー

\$600M-\$650M

シナジー要素	
商品関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>Speedway品揃え変更(PB含む)</li> <li>店内調理店舗拡大(約1,200店舗)</li> <li>フレッシュフードプログラム稼働</li> </ul>
スケールメリット活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンテナンスの内製化を拡大</li> <li>間接材調達最適化</li> </ul>
ガソリン物流統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガソリン輸送最適化</li> </ul>
デジタル戦略統合	<ul style="list-style-type: none"> <li>7NOW導入拡大(約2,000店舗)</li> </ul>

シナジー要素別構成比



# 消去及び全社のグループ戦略に係る費用、投資

単位: 億円

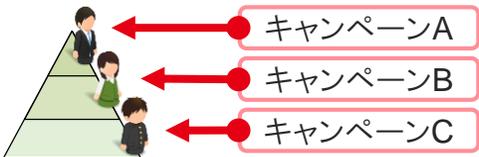
	費用			投資			主な施策
	2021年度 実績	2022年度 計画	増減	2021年度 実績	2022年度 計画	増減	
DX	▲163	▲317	▲153	126	148	+22	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラストワンマイルDXプラットフォームの進化</li> <li>個客接点拡大に向けた7iD会員基盤の整備</li> </ul>
セキュリティシステム	▲92	▲160	▲68	235	299	+64	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ共通基盤、セキュリティ強化</li> <li>事業会社から受託しているシステム開発</li> </ul>
システム関連 販管費	▲100	▲99	+0.5	3.6	4.2	+0.6	
合計	▲356	▲578	▲221	365	453	+87	
消去及び全社 (営業利益)	▲436	▲773	▲336				

# 7iDの活用により生まれる新たな事業機会について

「お客様理解の深化」と「個客接点の拡大」により、店舗・ネット双方の成長を図るとともに、グループプラットフォームを「広告価値」として、新たな利益成長機会を追求

## お客様理解の深化

「パーソナルロイヤルティPG」  
お客様の利用実態に合わせた  
個別キャンペーンで優良顧客を育成



「顧客嗜好スコア(仮)」  
お客様の嗜好・潜在ニーズに基づいた  
1to1マーケティング



質 ↑

7iD基盤の  
オープン化

物販のみならず「広告・メディア事業」の拡大も視野  
リアル・デジタルの豊富な顧客接点を活かした広告配信(DSP等)

プラットフォーム価値

量 →

## 個客との接点(リアル・デジタルチャネル×会員数)拡大



全国**450**店超  
IYアプリ会員:220万人\*



全国**21,000**店超  
7-11アプリ会員:1,700万人\*

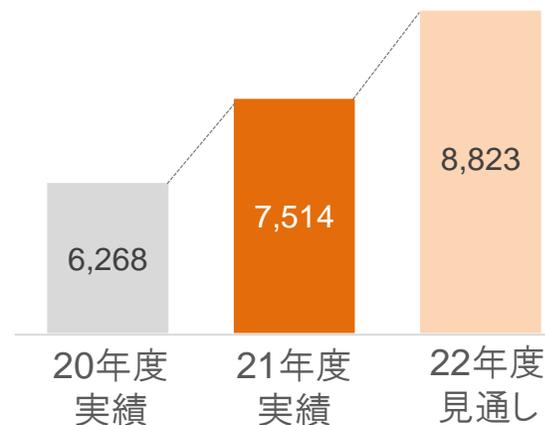
**7iD**  
SEVEN iD  
7iD会員:2,300万人超\*

\* 2022年2月末時点

# 2023年2月期 連結財務KPI予想

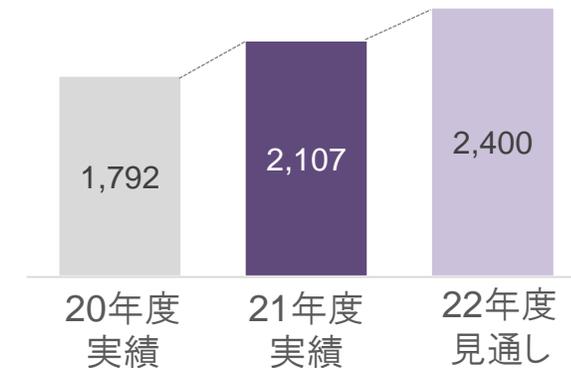
主な連結KPI	2021年度	2022年度	
	実績	見通し	前年差
EBITDA	7,514億円	8,823億円	+1,308億円
ROE	7.5%	7.9%	+0.4%
Debt/EBITDA倍率	3.9倍	2.9倍	▲1.0倍
EPS	238円	271円	+33円

## EBITDA

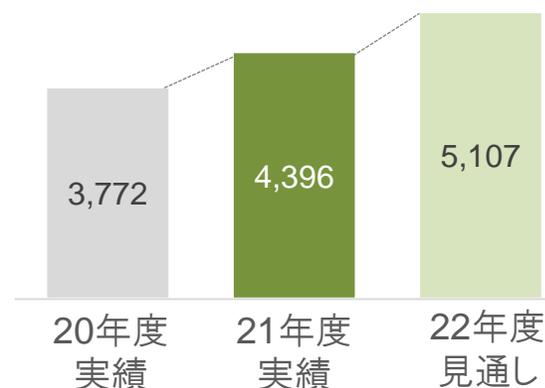


## 純利益

単位:億円



## 設備投資\*



## 有利子負債



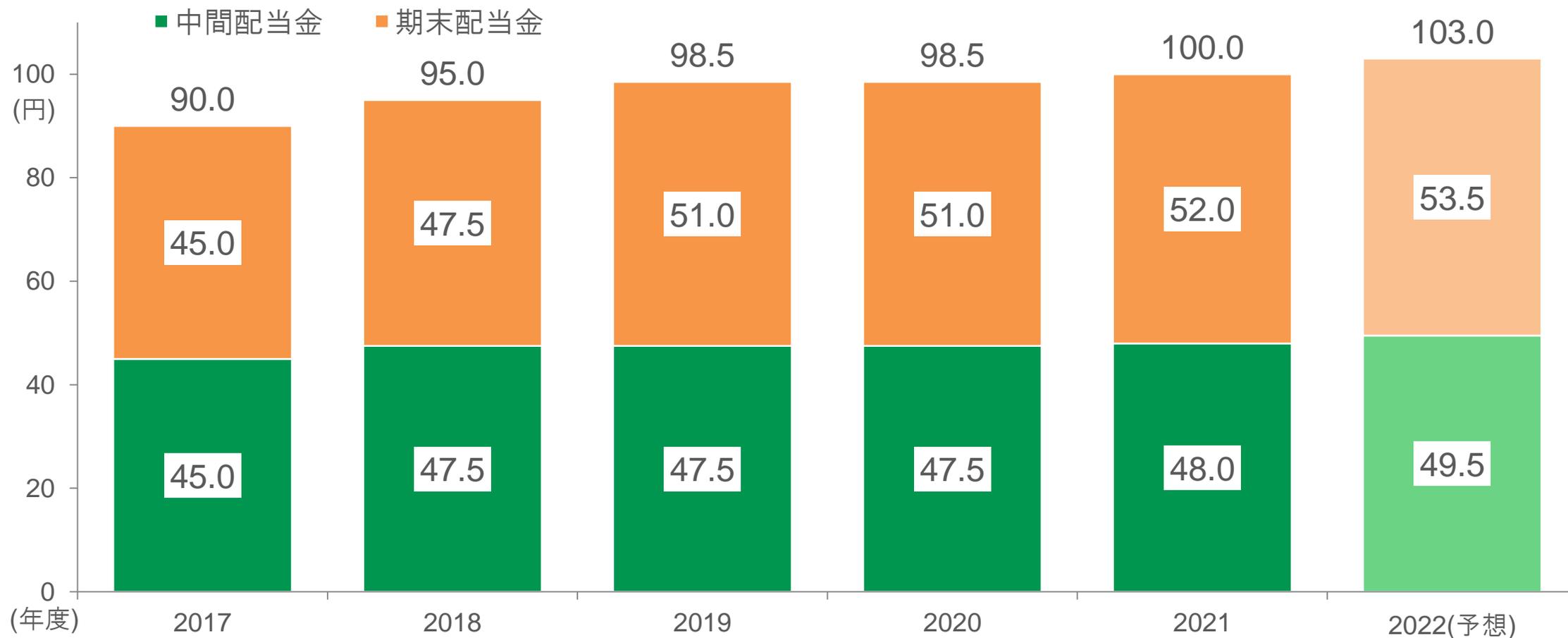
\* Speedway取得における投資は除く

# 株主還元

## 株主還元方針

1株当たりの配当金を安定的・継続的に向上させることを基軸とし、フリーCFの水準や株価等を勘案して、機動的な株主還元を実施する。

## 1株当たり配当金の推移





# Appendix - 補足資料 -

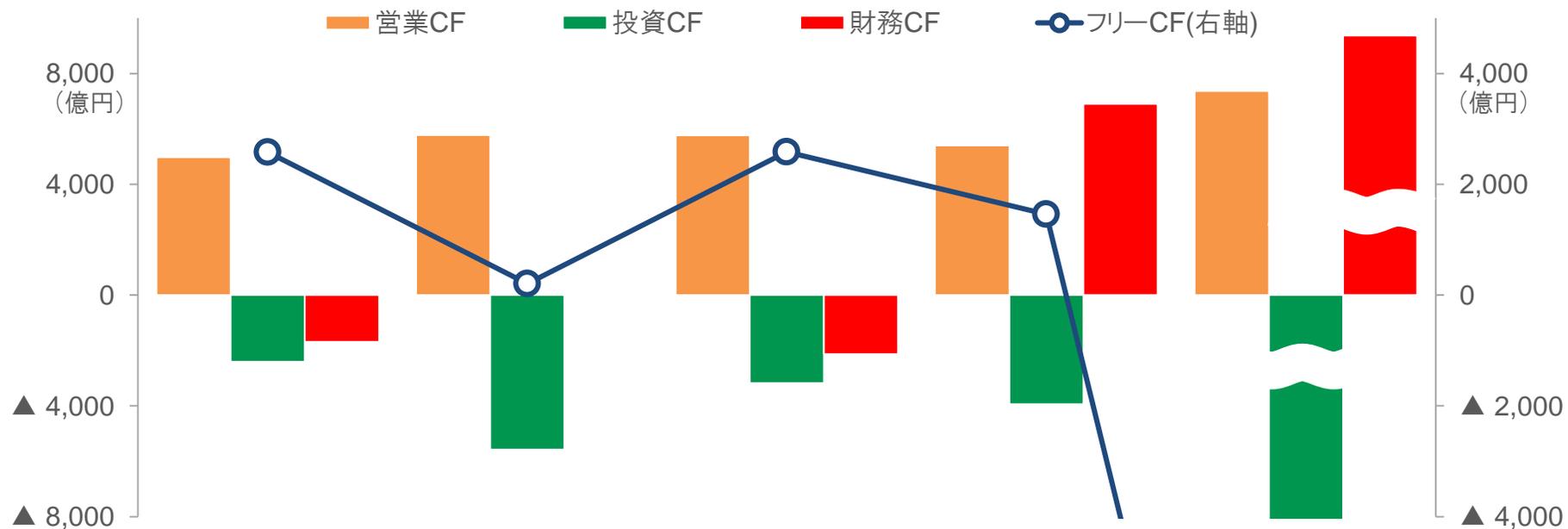
# 連結要約貸借対照表 (2022年2月末)

単位: 億円

資産の部 (主要科目のみ)	2021/2	2022/2	前期末差
流動資産	33,502	26,047	▲7,454
現金及び預金	21,891	14,206	▲7,684
7BK現金及び預け金	9,254	9,346	+91
受取手形及び売掛金	3,181	3,657	+476
ATM仮払金	2,164	1,078	▲1,085
固定資産	35,940	61,326	+25,386
有形固定資産	22,060	32,323	+10,263
建物及び構築物	9,940	15,278	+5,338
土地	7,462	11,197	+3,735
無形固定資産	6,458	21,400	+14,941
投資その他の資産	7,421	7,603	+181
繰延資産	25	18	▲7.3
資産合計	69,468	87,392	+17,924

負債・純資産の部 (主要科目のみ)	2021/2	2022/2	前期末差
負債合計	41,154	55,915	+14,760
流動負債	27,824	24,807	▲3,017
支払手形及び買掛金	3,852	4,839	+986
短期借入金	6,199	1,401	▲4,798
1年内償還・返済予定の 社債及び長期借入金	2,136	1,812	▲323
預り金	2,364	2,231	▲132
ATM仮受金	1,301	739	▲562
銀行業における預金	7,414	7,878	+464
固定負債	13,330	31,108	+17,777
社債	5,650	15,829	+10,179
長期借入金	3,625	9,943	+6,318
純資産合計	28,313	31,477	+3,163
負債・純資産合計	69,468	87,392	+17,924

# 連結キャッシュ・フロー計算書



(億円)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2020年度との差
営業活動によるCF	4,983	5,778	5,766	5,399	7,364	+1,964
投資活動によるCF	▲2,404	▲5,574	▲3,180	▲3,941	▲25,055	▲21,114
フリーCF	2,578	203	2,586	1,458	▲17,690	▲19,149
財務活動によるCF	▲1,685	▲53	▲2,132	6,905	9,370	+2,465
現金及び現金同等物 期末残高	13,003	13,107	13,548	21,838	14,148	▲7,689

# 2022年2月期 セグメント別営業収益・営業利益

単位：億円、%

		営業収益		営業利益		
		前期比	前期差	前期比	前期差	
連 結	87,497	151.7	+29,830	3,876	105.8	+213
国内コンビニエンスストア	8,732	101.7	+144	2,233	95.6	▲103
海外コンビニエンスストア	51,943	230.5	+29,409	1,598	162.0	+612
スーパーストア	18,107	100.0	▲1.5	187	63.3	▲108
百貨店・専門店	7,122	104.0	+276	▲81	-	+92
金融関連	1,943	97.7	▲45	375	78.1	▲105
その他	203	117.4	+30	▲1.1	-	+4.5
消去及び全社	▲555	-	+16	▲436	-	▲179

注) 為替換算レート: U.S.\$1=109.90円 1元=17.04円

# 2022年2月期 主要事業会社営業利益

単位：億円、%  
[百万ドル、%]

		営業利益		既存店 売上伸び率	商品荒利率 前期差
		前期比	前期差		
セブン - イレブン・ジャパン	2,230	95.6	▲102	+0.7	▲0.3
7 - Eleven, Inc. [ドルベース]	2,248 [2,046]	188.6 [183.2]	+1,056 [+929]	+7.4	+0.1
イトーヨーカ堂	16	20.8	▲61	+1.8 (SC計)	▲0.6
ヨークベニマル (旧ライフフーズ込み)*	188	91.7	▲17	▲0.4	▲0.6
そごう・西武	▲35	-	+31	+12.5	+0.3

\* 旧ライフフーズ：主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売していたヨークベニマルの子会社。旧ライフフーズ込みの営業利益は管理上の数値

# 2022年2月期 主要事業会社営業利益

単位: 億円、%  
[百万ドル、%]

	3Q累計		4Q		通期	
		前期比/差		前期比/差		前期比/差
セブン - イレブン・ ジ ャ パ ン	1,770	97.3 ▲49	459	89.7 ▲52	2,230	95.6 ▲102
7-Eleven, Inc.	1,671	174.9 +715	577	244.0 +340	2,248	188.6 +1,056
7-Eleven, Inc. [ドルベース]	1,539	173.3 +650	506	222.1 +278	2,046	183.2 +929
イトーヨーカ堂	▲24	- ▲43	40	69.4 ▲17	16	20.8 ▲61
ヨークベニマル (旧ライフフーズ込み)*	140	83.8 ▲27	47	127.0 +10	188	91.7 ▲17
そごう・西武	▲63	- +7.1	28	741.9 +24	▲35	- +31

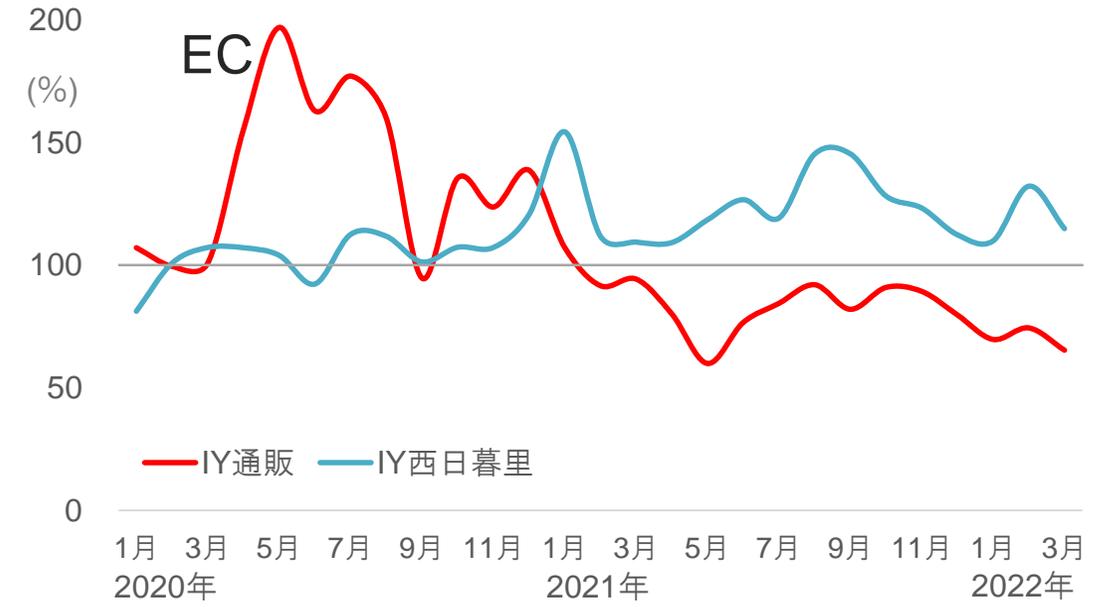
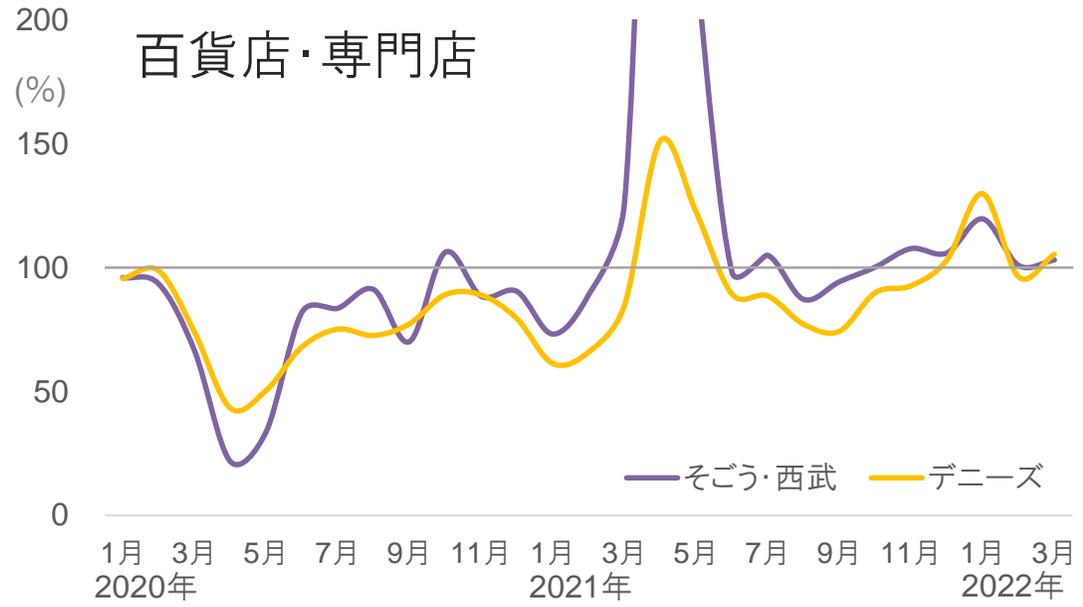
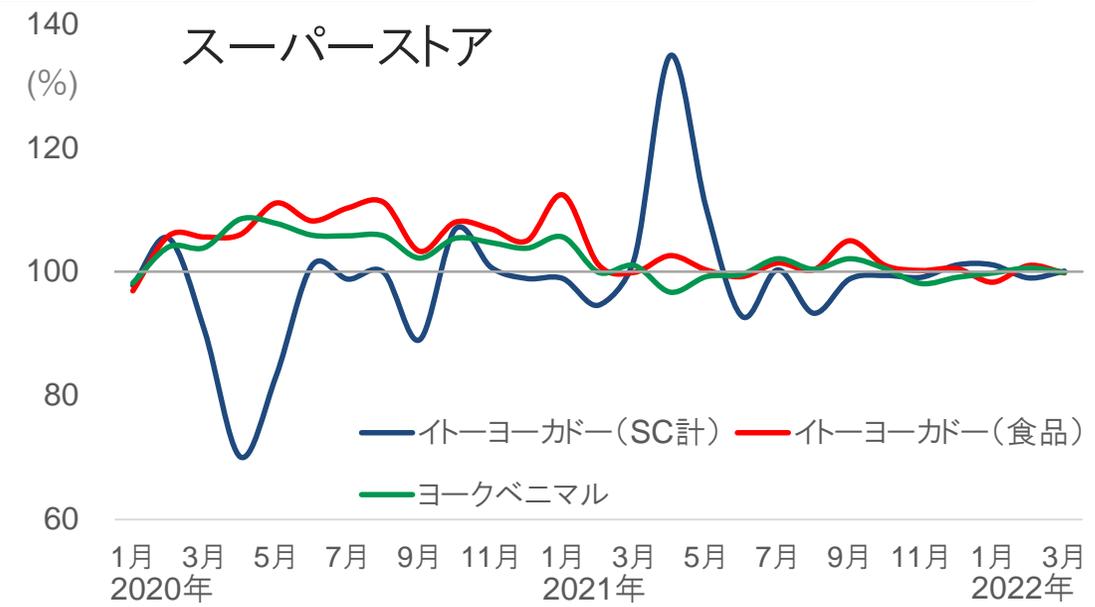
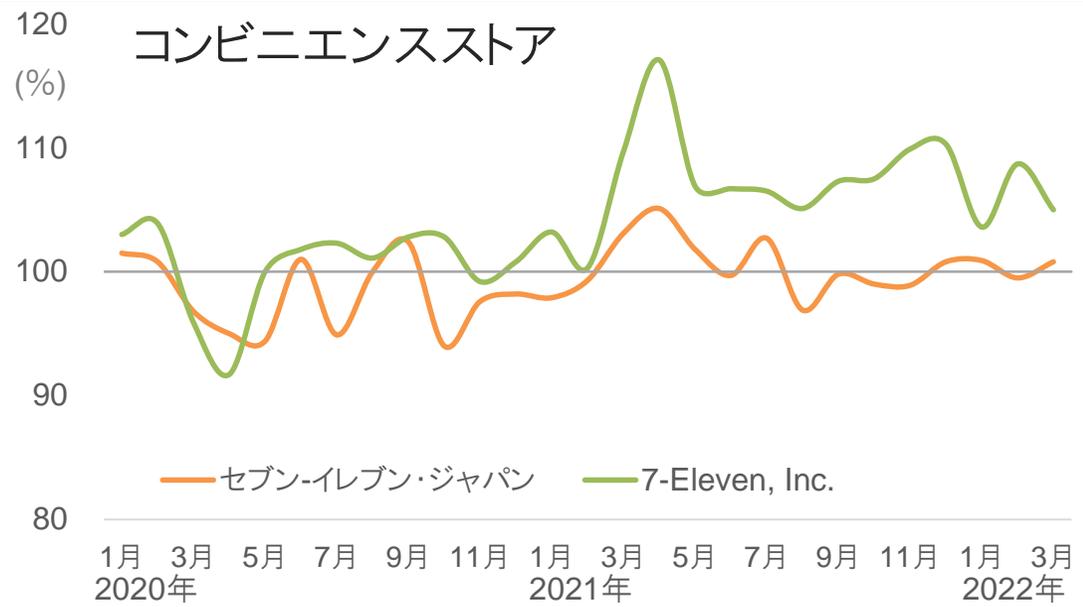
\* 旧ライフフーズ: 主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売していたヨークベニマルの子会社。旧ライフフーズ込みの営業利益は管理上の数値

# 2022年2月期 主要事業会社既存店売上伸び率、荒利率

単位：%

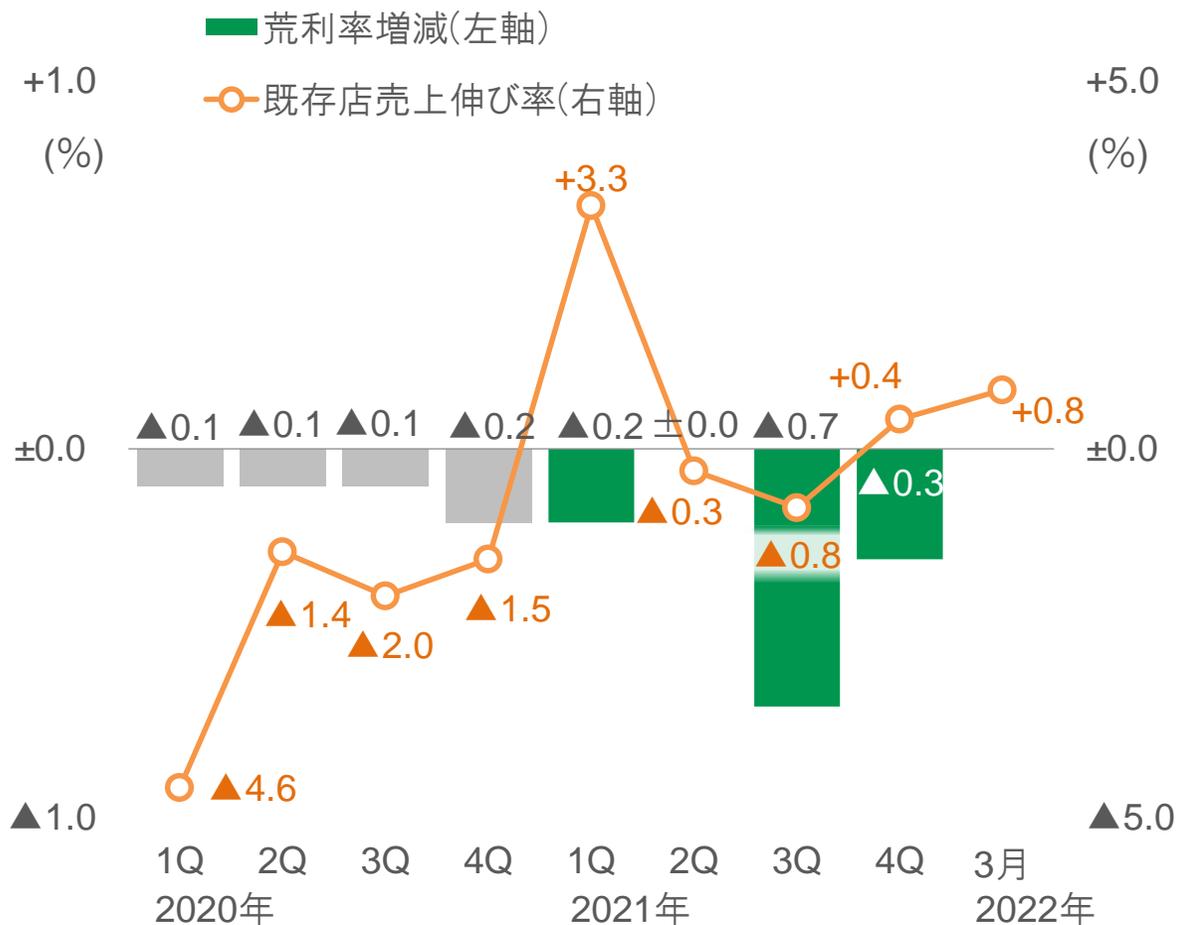
	3Q累計		4Q		通期	
	既存店売上	荒利率/前期差	既存店売上	荒利率/前期差	既存店売上	荒利率/前期差
セブン - イレブン・ ジ ャ パ ン	+0.7	31.7 ▲0.3	+0.4	31.5 ▲0.3	+0.7	31.7 ▲0.3
7-Eleven, Inc.	+7.0	34.3 +0.1	+9.1	33.9 +0.2	+7.4	34.2 +0.1
イトーヨーカ堂	+2.2 (SC計)	28.9 ▲0.8	+0.5 (SC計)	29.5 ▲0.2	+1.8 (SC計)	29.0 ▲0.6
ヨークベニマル	▲0.4	25.5 ▲0.8	▲0.2	26.7 ▲0.3	▲0.4	25.8 ▲0.6
そごう・西武	+14.3	23.1 +0.2	+8.4	22.5 +0.6	+12.5	22.9 +0.3

# 既存店売上前年比推移 (3月は速報値)



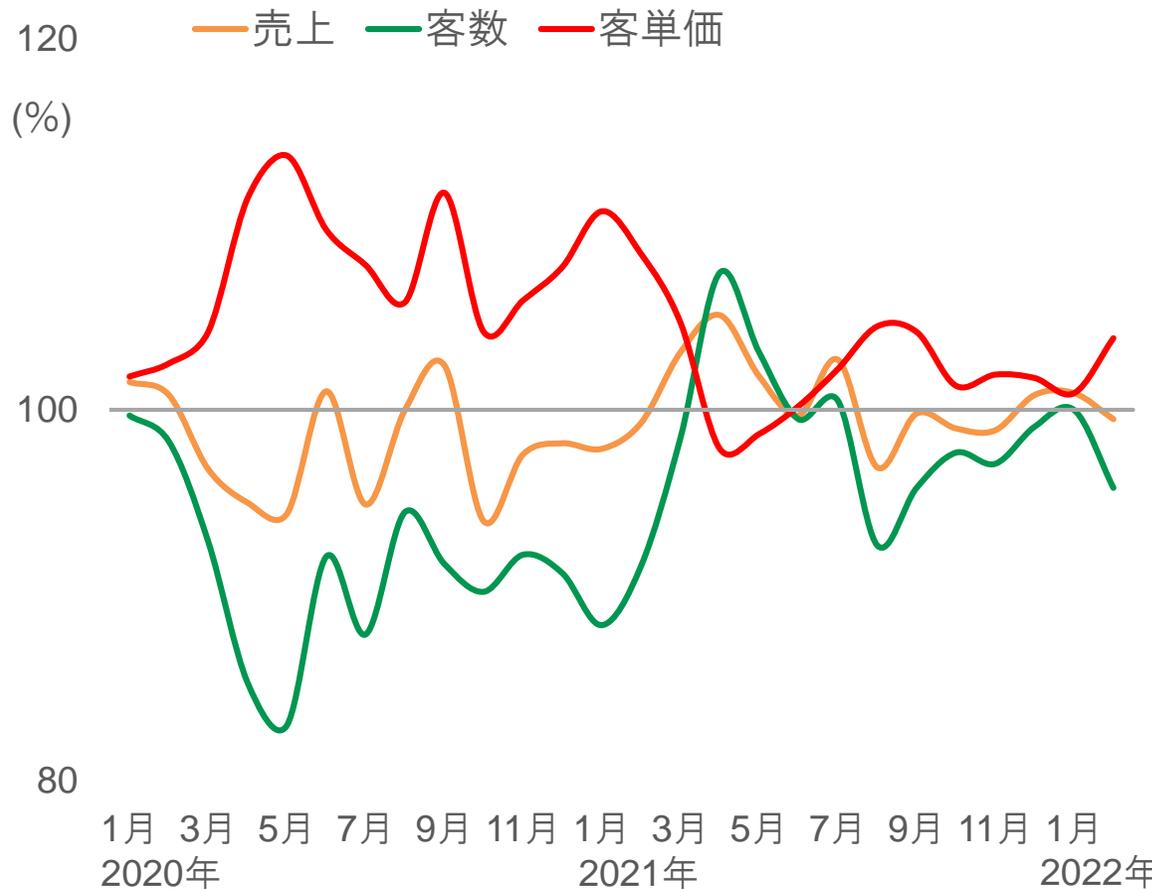
# セブン-イレブン・ジャパン ①

## 既存店売上・荒利率



2022年3月度 既存店売上	2019年比(コロナ影響前比)
	+0.6%

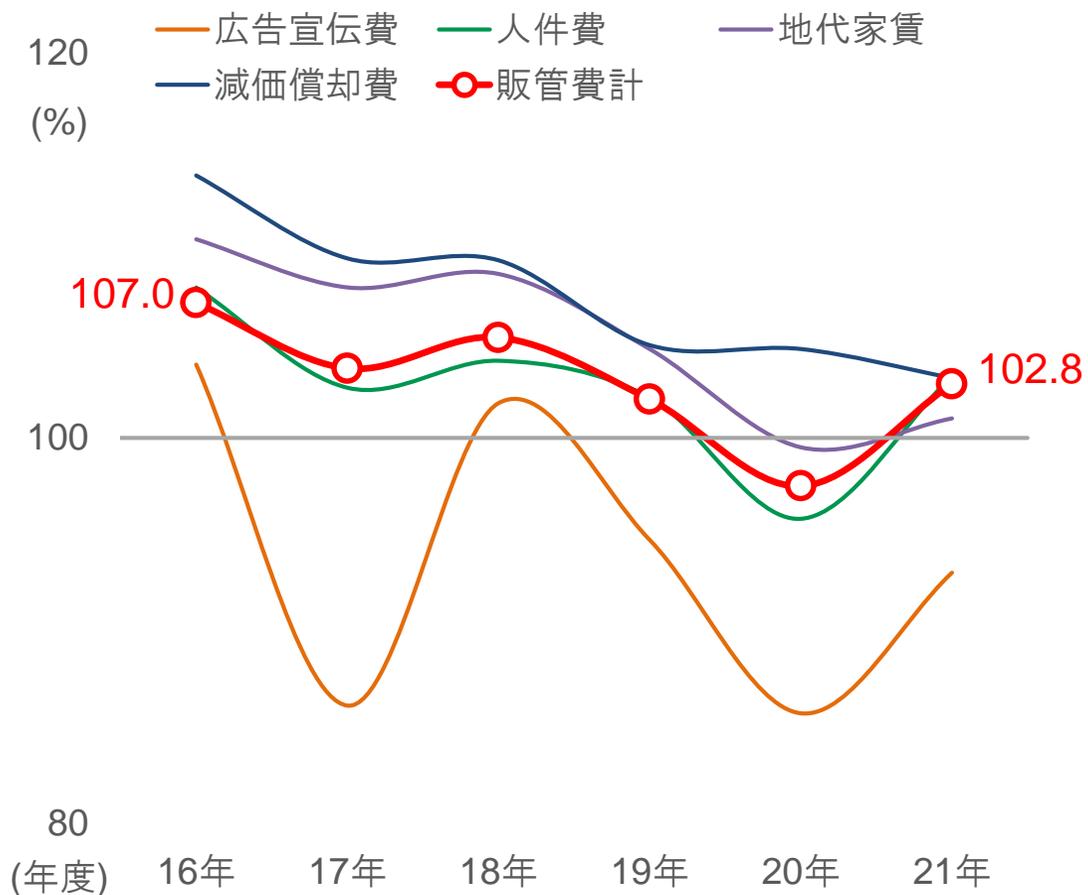
## 既存店 売上・客数・客単価



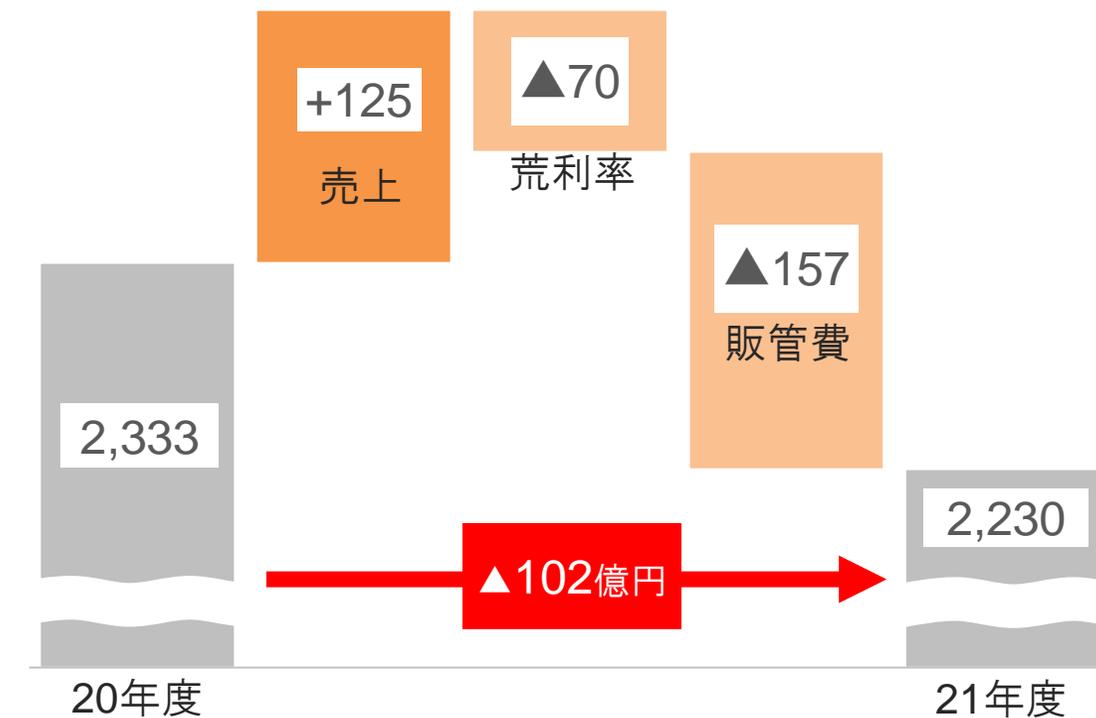
2021年度(%)		売上		客数		客単価	
前年比	一昨年比						
		100.7	98.3	98.8	89.0	101.9	110.5

# セブン-イレブン・ジャパン ②

## 販管費前年比推移



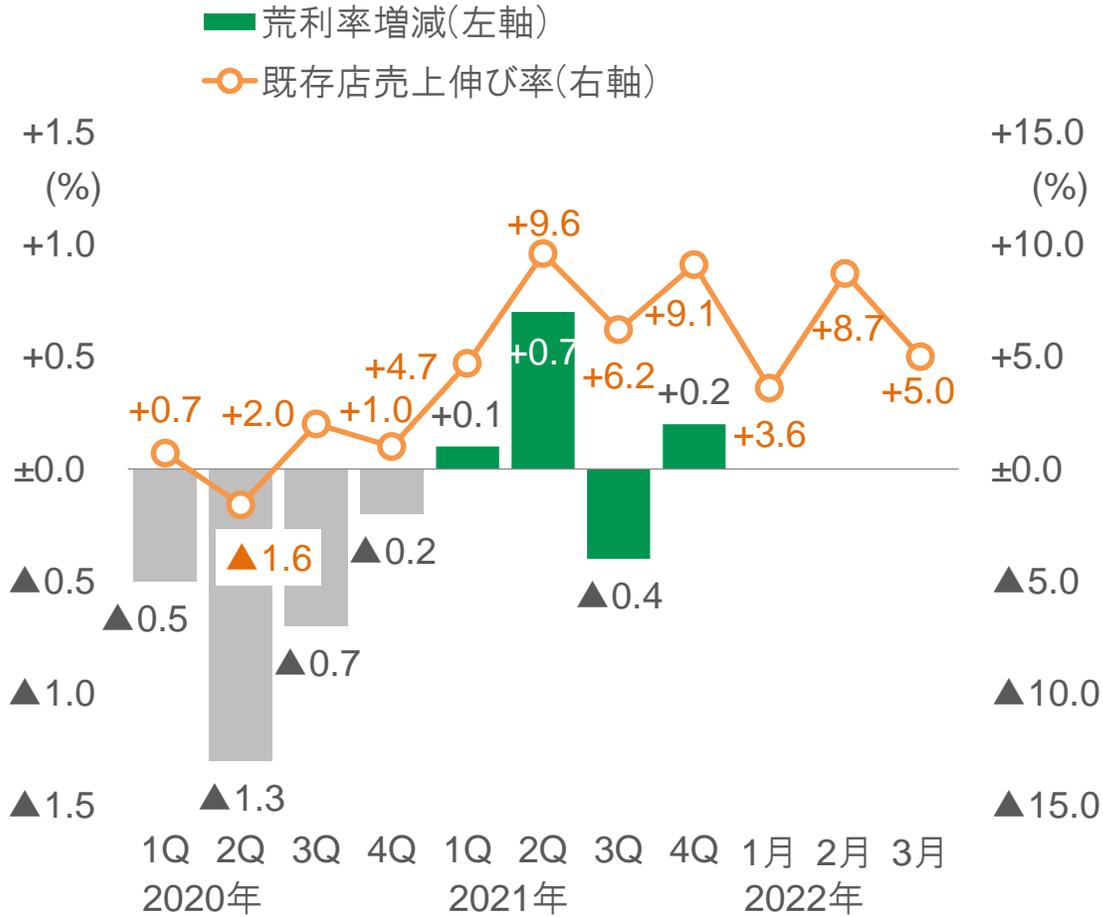
## 営業利益増減 (億円)



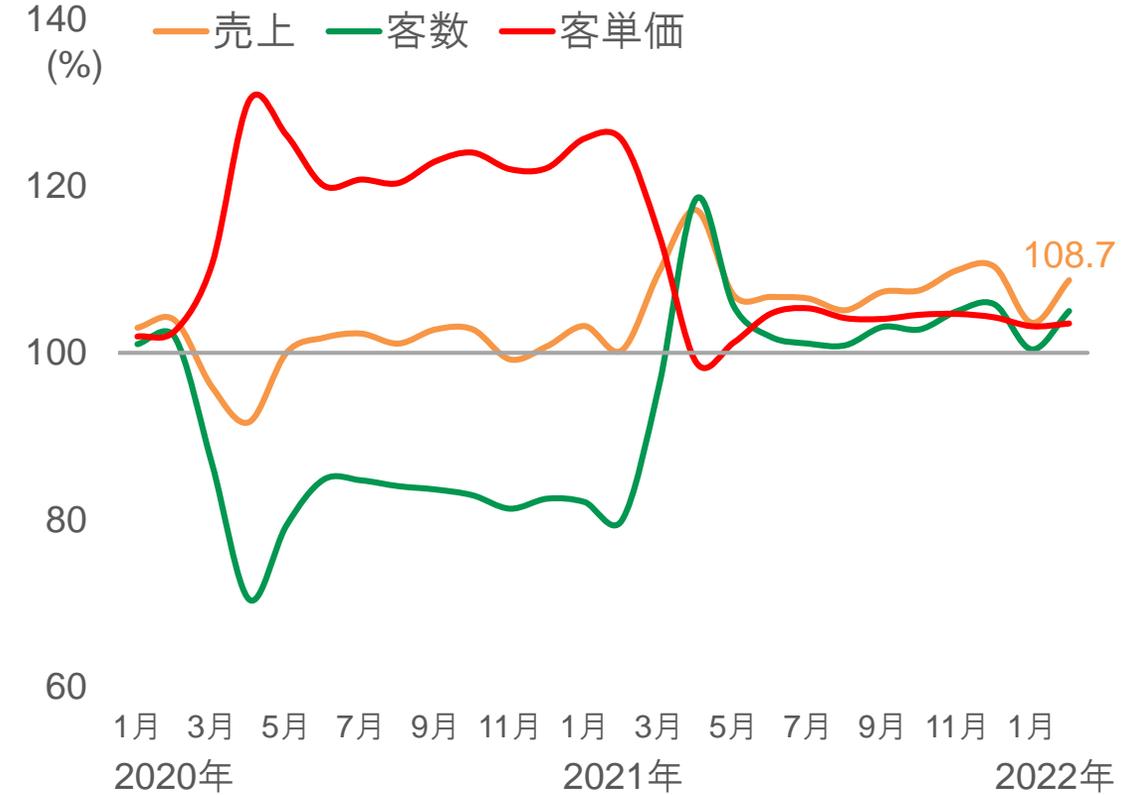
EBITDA* (前年比/差)	3,023億円	
	97.5%	▲78億円

\* 営業利益+減価償却費

## 既存店売上・荒利率 (3月は速報値)



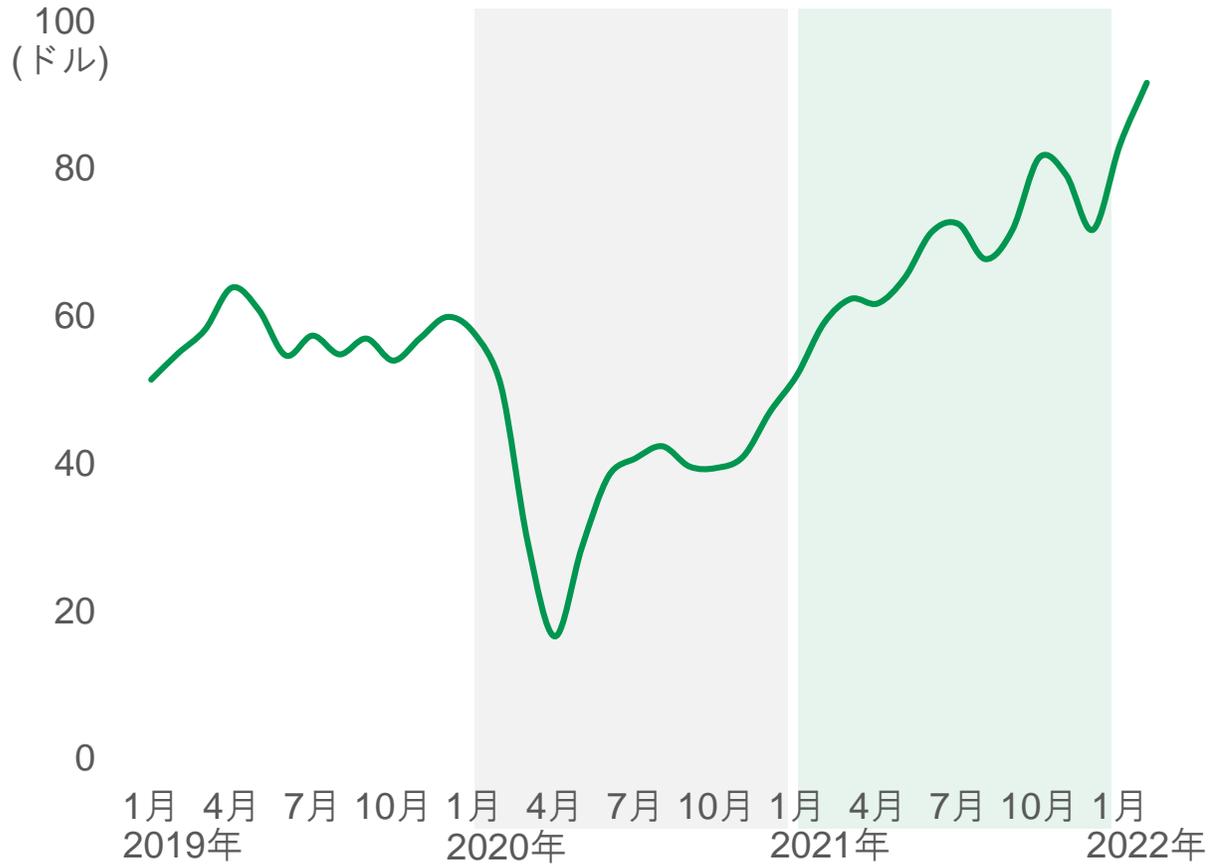
## 既存店 売上・客数・客単価



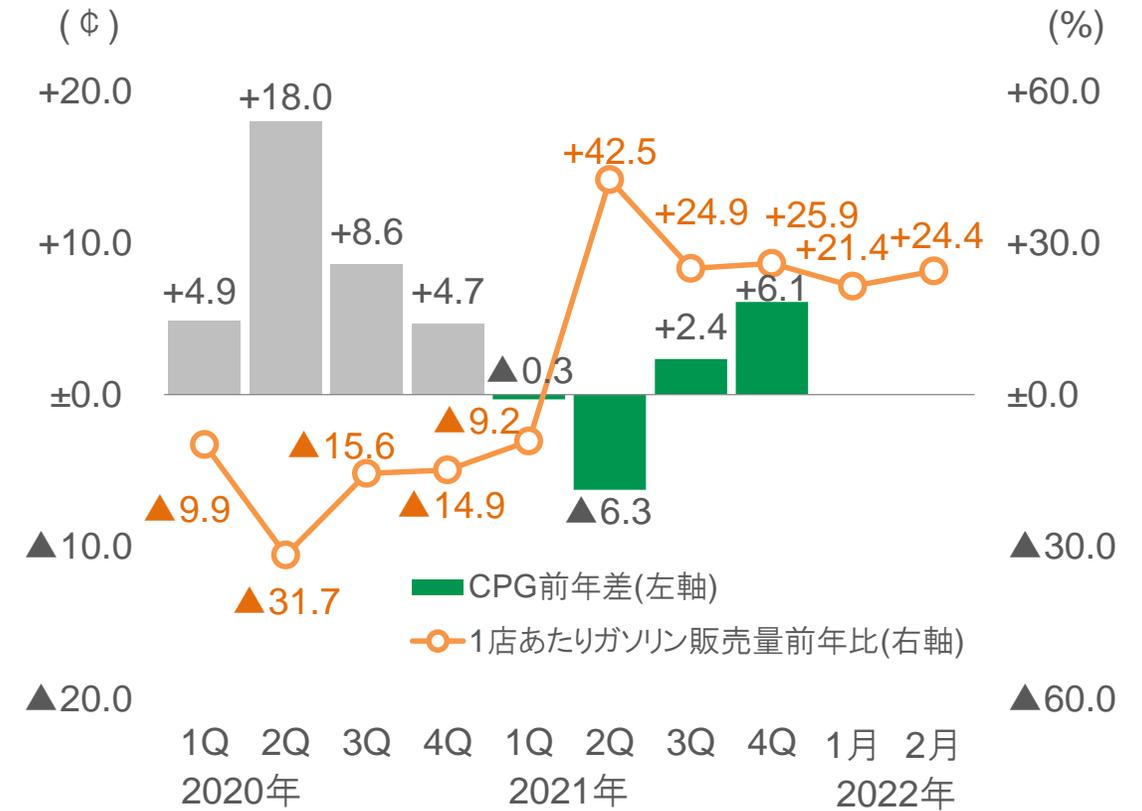
2021年度(%)		売上		客数		客単価	
前年比	一昨年比	107.4	108.4	102.3	87.4	104.9	123.9

注) 既存店の数値にはSpeedwayの数値は含まれておりません

## 原油価格推移 (WTI)

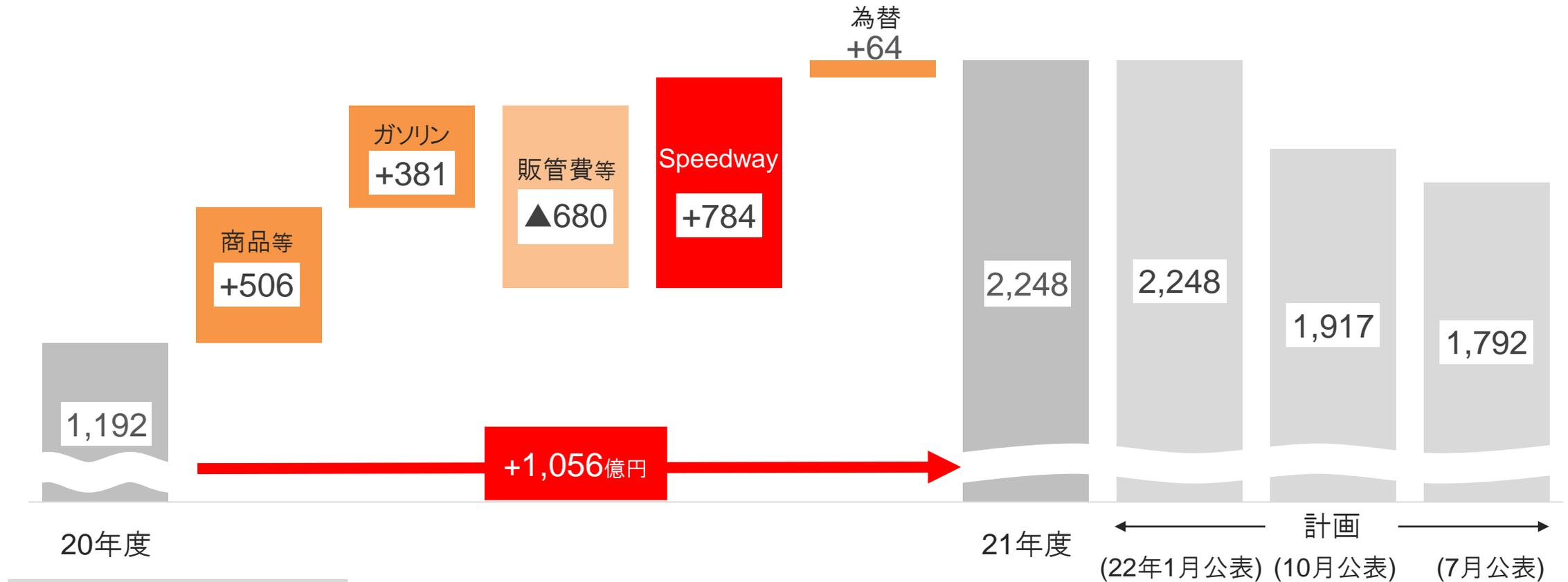


## ガソリン販売量・荒利(CPG)



2021年度 ガソリン荒利： +\$1,916M (+95.2%)

## 営業利益増減 (億円)



EBITDA*	3,474億円
(前年比/差)	173.3%   +1,469億円

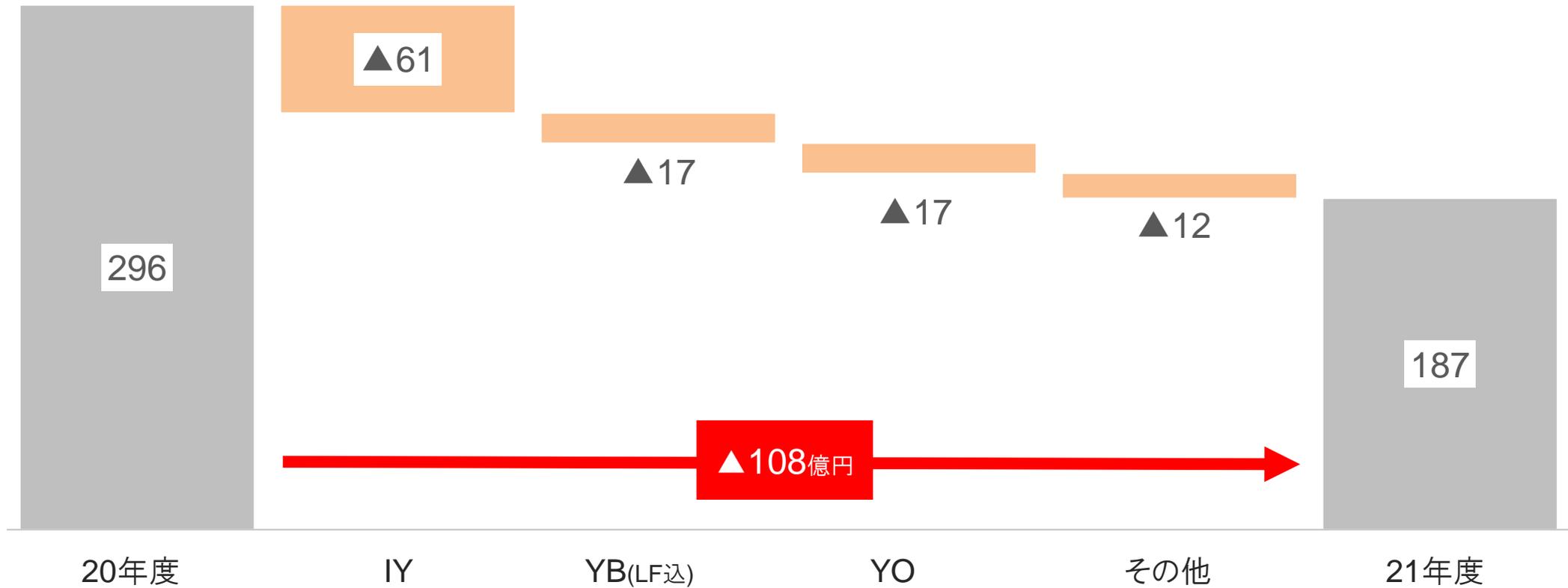
\* 営業利益+減価償却費

## 2021年度業績内訳

	Speedway (5月14日～12月31日)		SEI(Speedway除き) (1月1日～12月31日)		SEI合計	
		前期比(%)		前期比(%)		前期比(%)
商品平均日販(ドル/店)	5,435	-	5,493	107.6	5,483	107.4
商品荒利率(%)	30.0	-	35.1	+1.0	34.2	+0.1
ガソリン販売量(ガロン/日/店)	4,779	-	3,268	107.2	3,723	122.2
営業利益(百万ドル)	735	-	1,311	117.4	2,046	183.2
営業利益(億円)	807	-	1,440	120.9	2,248	188.6
のれん償却額(億円)	449	-	224	106.1	673	318.9
連結への貢献(億円)	358	-	1,216	124.0	1,575	160.6

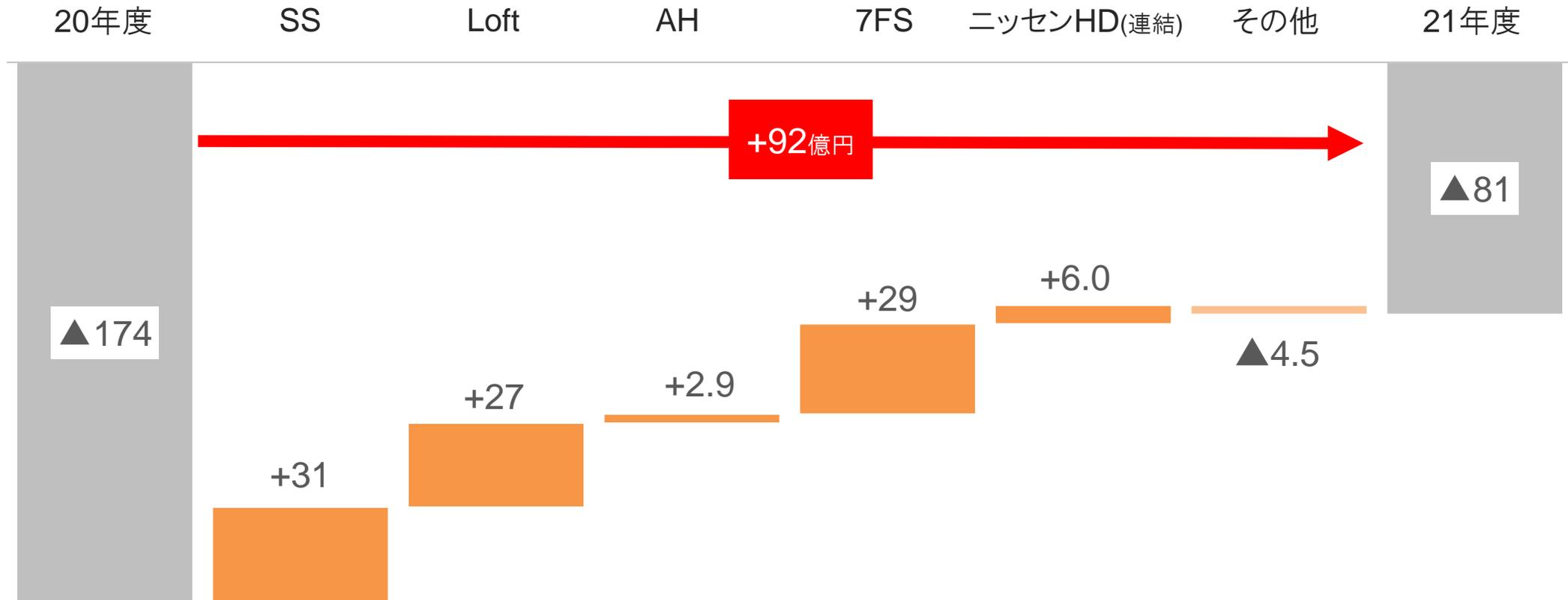
注) 為替換算レート: U.S.\$1=21年度109.90円、20年度106.76円

## 営業利益増減 (億円)



注) IY:イトーヨーカ堂、YB:ヨークベニマル、LF:ライフフーズ(主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売していたヨークベニマルの子会社)、YO:ヨーク  
YB(LF込)は管理上の数値

## 営業利益増減 (億円)



注) SS:そごう・西武、AH:赤ちゃん本舗、7FS:セブン&アイ・フードシステムズ

# 特別損失

単位：億円

	20年度	21年度	前期差	主な要因
特別損失合計	1,090	687	▲402	事業構造改革の進捗による関連損失の減少 その他、COVID-19による損失の減少
固定資産廃棄損	121	136	+14	SEI(+15)：店舗改装による増加等
減損損失	316	264	▲51	IY(▲47)：減損対象店舗の減少
事業構造改革費用	102	41	▲60	IY(▲18)：前期、閉店、人事施策等 SS(▲45)：前期、閉店、人事施策等
新型コロナウイルス感染症による損失	405	103	▲301	SEJ(▲59)：加盟店支援金(▲36)、感染対策費用(▲17)等 SEI(▲61)：感染対策費用(▲40)、従業員手当(▲16)等 IY(▲45)：固定費振替(▲38)等 SS(▲85)：固定費振替(▲82)等 その他：YB(▲9.9)、Loft(▲8.8)、7FS(▲6.0)、AH(▲3.6)

# 2023年2月期 連結業績予想 (上期・下期)

単位: 億円、%

	上期			下期		
	金額	前期比	前期差	金額	前期比	前期差
グループ売上	76,760	120.4	+12,995	77,920	99.0	▲748
営業収益	47,720	130.9	+11,255	48,810	95.6	▲2,223
総額営業収益(参考値)	51,230	140.5	+14,765	52,510	102.9	+1,476
営業利益	2,164	116.2	+302	2,136	106.0	+121
経常利益	2,026	116.8	+291	1,994	107.7	+142
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,200	112.7	+134	1,200	115.1	+157
EPS (円)	135.88	112.7	+15.27	135.88	115.1	+17.81
のれん償却前EPS (円)	190.80	129.6	+43.56	190.91	110.9	+18.76
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却費)	4,384	128.5	+971	4,439	108.2	+337

\* グループ売上: セブン-イレブン・ジャパン、セブン-イレブン・沖縄及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

注) 1. 為替換算レート: U.S.\$1=114.00円 1元=16.00円

2. 2023年2月期予想は「収益認識に関する会計基準(企業会計基準29号2020年3月31日)」適用後の数値であります。

なお、従前の計上方法による営業収益の2023年2月期予想は「総額営業収益(参考値)」として記載しております。

# 2023年2月期 セグメント別予想 (営業収益)

単位: 億円、%

	営業収益			総額営業収益(参考)		
		前期比	前期差		前期比	前期差
連 結	96,530	110.3	+9,032	103,740	118.6	+16,242
国内コンビニエンスストア	8,550	97.9	▲182	8,860	101.5	+127
海外コンビニエンスストア	66,500	128.0	+14,556	66,500	128.0	+14,556
スーパーストア	14,950	82.6	▲3,157	18,500	102.2	+392
百貨店・専門店	4,870	68.4	▲2,252	8,170	114.7	+1,047
金融関連	2,000	102.9	+56	2,090	107.5	+146
その他	240	118.0	+36	250	122.9	+46
消去及び全社	▲580	-	▲24	▲630	-	▲74

注) 為替換算レート: U.S.\$1=114.00円 1元=16.00円

## 暮らしとともに — セブン&アイグループ



当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。  
この事項については、開示時点において当社が入手している情報による経営陣の判断に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。  
したがって、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があります。